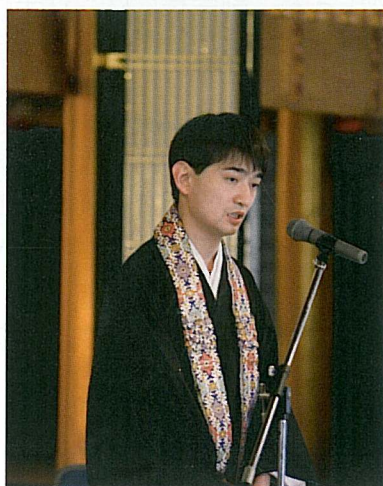


# 新門様、新裏方様ご巡拝 2月5日に記念式典



混迷する時代、心の拠り処となる浄土真宗のみ教をより広く伝えるため、門信徒の皆様との親交を暖めようと、去る2月5日、西本願寺門主の後継者、大谷光淳新門様（左写真）が西山別院までお越しになりました。

このお取り組みは、西山別院だけにとどまらず、平成22年3月を目標に、北は北海道から南は沖縄まで、全国70ヶ所に点在する宗派関係機関を、全てお巡りになる予定。その精力的なご姿勢通り、午前11時からの記念式典において、満堂の参列者を前に述べられた新門様のお言葉は、平成23年にお迎えする大法要「親鸞聖人750回大遠忌法要」を間近に控え、宗門の次世代を担う新門様の熱い意気込みが強く伝わる内容となりました。

さらに、当日は新門様の奥様、流豆美新裏方様（右下写真中央）もご臨席。お二方の仲睦まじいお姿が印象的で、式典の厳粛な空気の中にも爽やかさが感じられました。

また、京都では通常本山でしか行われぬ、帰敬式（出家の象徴として、おかみそりを頭上に受け、仏弟子の自覚を新たにす儀式）が、同じく新門様御導師のもと執り行われ、別院門信徒18名が受式、忘れられない特別な一日となりました。



記念式典は参列者で本堂が満堂に

西山幼稚園児が新門様新裏方様をお出迎え



本願寺西山別院報

く  
久  
お  
遠  
ん

〒615-8107  
京都市西京区川島北裏町  
29番地  
Tel : 075-392-7939  
Fax : 075-394-4416  
発行者：大江 智 朗

## いのち 法 話 本願寺西山別院輪番 大江 智 朗



月日の経つのは早いもので西山別院にお世話になって、一年になります。身に余る重責で、何時までもてるだろうか、何時アウトになるかと、危惧しましたが、皆様のご支援、ご協力の御陰で、殊に職員のお方のご協力により今日に至りました。

西山にきまして、聞くもの、見るものに初めてのものが多く、初体験の連続のような一年でした。沢山の方々、いろんな方々にお会いしました。素晴らしいお方のお一人に、アソカ診療所所長の佐々木恵雲先生がいらっしゃい

ます。先生は、大阪医科大学の先生でもあります。滋賀教区湖北組西照寺のご住職さまでもあります。

昨春、京都にきて、病院探しも課題の一つでした。平成13年夏、救急車で自坊近くの福岡県新行橋病院に運ばれました。それ以来、月一回、通院し朝夕服用のお薬を頂いていました。お別院の近くにも、色々な病院も多いようで、何処にしようかと随分迷いましたが、結局、ご本山のアソカ病院（本願寺北境内地内）に決めました。建物は小さいですが、優秀な先生方が曜日を決めて診察して下さいます。

私の京都での主治医、佐々木恵雲先生が、最近『人生からの贈りもの一医

療と仏教から見つめるいのち』という書籍を刊行されました。早速購入して一気に拝読、感激しました。医師であり僧侶である先生が、自らの様々の体験を通して、これからの医療と人間的生き方について平易に述べてあります。その帯に「私たちは“人生”というプロセスの中で、さまざまな人々との出会いや別れを経験します。その経験を活かし大切にすることが、生きる意味を明らかにし、生きる喜びを見出すことにつながります。」とあります。三月中旬に診察して頂いた時、御本に「いのち 豊かに生きる」というサインを頂きました。豊かに生きていくためにもご一読を奨めます。（本は裏面で紹介）

# 仏教婦人会 4月1日より役員が一新

新副会長 新会計 副会長 会計  
 辻千代子さん 大石操子さん 辻広子さん 河村りり子さん



新会長 山口睦壬さん 会長 山口道子さん  
 大江輪番

会長の大役を仰せ  
 つかりまして、大変  
 恐縮しています。皆  
 様のお力添えを頂き  
 ながら、明るく楽し  
 い婦人会を目指して  
 務めてまいりますの  
 で、宜しくお願ひ  
 いたします。

会長を一年間させ  
 て頂いたことで、よ  
 りお寺を身近に感じ  
 ることができ、役員  
 同士とても仲良くな  
 りました。今後は経  
 験を生かして、新役  
 員方のサポートをさ  
 せて頂きたいと思ひ  
 ます。

## 四月の行事 一覚祖会一 西山別院開基、本願寺第3代宗主 覚如上人のご法要

- 4月22日（水）午後2時～ 覚祖会逮夜法要  
 ※法要後、無料のお斎（軽食）をご用意いたして  
 おります（午後4時半くらい、先着順）
- 午後7時～ 覚祖会初夜法要
- 4月23日（木）午前7時～ 覚祖会晨朝法要
- 午前10時～ 覚祖会日中法要



## 石橋 伝えたい日本の橋 写真集

西山別院門信徒の平野暉雄さんが写真集を出版



平野暉雄 写真・文（自由国民社、2,730円）  
 平成21年4月中旬発売予定

橋の景観設計家として会社を経営する平野暉雄さんは、「橋の写真家」でもあります。どこか心を豊かにしてくれる美しい日本の橋を、自然・文化とともに次世代へと伝え、「心なごむ」を大切にす世界が展開していくことを願ひ、活動を続けていらっしやいます。  
 このたび出版される『石橋—伝えたい日

## 本

『本の橋』は、平野さん三冊目の写真集。20年近く撮りためた石橋の写真は約600橋8000枚！その内選りすぐりの150橋が掲載されています。橋をだれよりも愛する写真家だからこそ表現し得る、風景と調和した橋の美しさ。百聞は一見に如かず。橋を楽しむという新たな価値感を提供してくれます。訪れるのに便利なアクセス案内データ付き。

【著者略歴】  
 1943年京都市生まれ。立命館大学卒。1977年、(株)景観技術センター設立、代表取締役社長。橋の景観設計家・写真家。



数々の臨床を通して多くの人の苦悩を見つめ、その解決に携わってきた著者。医師と僧侶の目を通して、人間の誕生の意義を知ることの大切さや、こころとからだの健康を保つための心得を語る。

## 歎異抄 一第6回一 受講生 募集!!

平成21年4月26日(日曜日) 午前10時～正午  
 場所:対面所 会費:500円 テキストはご用意します

この頃、書店の「癒し」や「宗教」に関するコーナーに足を運べば『歎異抄』に関する書籍を必ず目にします。今、時代が『歎異抄』を求めています。講師大江輪番の平易な講義で読み解いて行きます。受講をご希望の方は別院までお気軽にご連絡下さい（寺務所：075-392-7939）



受講風景

## 人生からの贈りもの

大江輪番推薦



佐々木恵雲著  
 （本願寺出版社、1,050円）  
 発売中

【本願寺出版社HPより】